

『新純星余情和歌集』重要語総覧

●本リストは、岩崎純一歌集『新純星余情和歌集』に出現する重要語・重要概念のリストである。

編纂開始年月日：2011年1月6日、最終更新：2019年12月22日

和歌詠者：岩崎純一

『新純星余情和歌集』本編は別掲

本リスト作成者：園井長光・雪実少納言・沙月式部・岩崎純一

目次

解説(当ページ下部)
景物・自然現象の部
動物の部
植物の部
人物・身体部位の部
建築物・農耕・狩猟・屋外の部
調度・日用品・服飾の部
観念・概念・心境の部
民話・神話の部
枕詞の部
歌枕・名所名跡・地名の部
漢語・梵語の部

解説

「漢語・梵語の部」以外の「★」は、訓読み以外の読みを含む語であることを示す。ただし、「梅(うめ)」「馬(うま)」のように、漢語音が極めて古く大和言葉化した語(主に訓読みとされている漢語音語)や、「菊(キク)」のように、ほとんど大和言葉として和歌に多用されている語については、「★」を省略した。

「>」は、派生語を示す。

季節の風物の掲載時期は、実際の四季(特に、花の旬の時期)に則している。
例えば、近現代俳句では、「桔梗」は秋、「浜木綿」は夏の季語であるが、実際の開花時期はそれぞれ6月～9月、7月～10月で、伝統和歌においても、桔梗は夏の植物、浜木綿は秋の植物として描かれている歌の数が勝っている。
また、戦後の品種改良などにより、開花時期などが大幅に変化した植物も多い。
本リストでは、近現代文学上の取り決めよりも、主に戦前の実際の開花・収穫時期等に則して掲載している。

なるべく多くの語について、当該の大和言葉に当てられる漢字を掲載した。ただし、実際の歌中では、掛詞などの関係から仮名書きしている語も多い。

魚介類等は、食するに旬の時期を掲載している。実が食用とされる植物については、花の旬ではなく実の旬の時期を掲載している。

月の名前は陰暦に従って掲載している。

色彩語・色彩概念については、古語と現代語との間に著しい差異があるため、本リストでは詳しくは扱っていない。サイト別掲の日本色彩大年表(以下)を参照しつつ和歌の読解・鑑賞を試みる事が望ましい。

『日本色彩大年表』も参照せよ。

* 無断での転載・改変等を禁ず。個人的な印刷・使用は可。

景物・自然現象の部						
	無季	春	夏	秋	冬	
あ	暁			秋風		
	明星(あかぼし)			秋枯れ		
	明け>明け暮れ			秋雨(あきさめ)		
	曙					
	朝(あさ)>今朝(けさ)、朝日、朝枯れ					
	朝(あした)					
	天(あま)>天の河、天の原、天橋					
	天(あめ)>天地(あめつち)					
	雨>村雨、長雨(ながめ)、雨垂り、雨夜、氷雨(ひさめ)、照り雨、霧雨(きりさめ)、雨間(あまま)					
	嵐					
有明						
彼誰時(あれたれどき)						
い	雷(いかづち)	糸遊(いとゆふ)				
	池>池水					
	砂(いさご)>砂子(いさご)、真砂(まさご)					
	十六夜・躊躇ひ(いざよひ)					
	石					
	磯(いそ)>荒磯(あらいそ)					
	稻妻					
	岩・石(いは)>岩根、岩肌					
	巖(いはほ)					
	入相					
う	泡沫(うたかた)					
	渦(うづ)>渦潮					
	海>海原(うみはら・うなばら)、海辺(うみべ・うなひ)					
	湖(うみ)					
	浦					
え	江>入江					
	沖>沖つ浦波、沖つ潮騒	朧月、朧夜、朧月夜				
お	落合(おちあひ)					
	追分(おひわけ)					
	風>潮風、朝風、夕風、夜風、上風、下風、大風、松風、河風、初風、浦風、涼風、花風、波風、風波、五百重(いほへ)風	霞>朝霞			風花(かざばな)	
	湯	陽炎(かげろふ)			空風(からかぜ)	
	川・河>涙川、古川、堀川、川原・河原(かはら)、天の河、水無瀬川、山川、川島				枯色	
	峡(かひ)					
	かむとけ					
	き	岸			霧>朝霧、夕霧、秋霧、霧雨	北、北風(きた)
						北風(きたかぜ)
	く	雲>叢雲、雲間、白雲、八重雲、浮雲、横雲、雲居、縹雲		黒南風(くろはえ)		
雲居						
け	暮>夕暮、暮合(くれあひ)、日暮、明け暮れ					
	煙					
こ	昨夜(こそ)	東風(こち)			木枯・凧(こがらし)	
	泥(こひち)				小春	
さ					氷>朝氷、夕氷、薄氷	
	坂		五月雨(さみだれ)			
し	沢>沢辺		五月闇(さつきやみ)			
	雫・滴(しづく)		白南風(しらはえ、しろはえ)	時雨>霧時雨、初時雨	時雨>北時雨、木(こ)の葉時雨、夕時雨、小夜時雨(さよしぐれ)	

	東雲(しののめ)				霜>霜夜、霜枯れ、露霜、別れ霜、忘れ霜、霜夜、霜朽ち
	潮>潮入、潮待ち、潮騒、渦潮				
	島>八十島、川島、島根				
す	洲>中州				
	砂>砂子(すなご)				
せ	瀬>瀬枕、高瀬、初瀬、水無瀬、瀬戸、淵瀬、平瀬、舟瀬、瀧つ瀬、浅瀬、早瀬				
そ	磯(そ)>荒磯(ありそ)、磯(そ)なれ木(ぎ)				
	空>大空・虚(おぼぞら)、夜空、天つ空、み空				
た	黄昏(たそがれ)				
	滝・瀧>瀧つ瀬				
	谷				
ち	塵				
つ	月>月影、有明、有明の月、月夜、夜月、月見、夕月、三日月、望月(もちづき)	梅雨		露>白露、露霜、朝露、夕露、下露	露霜
	月花				
	土・地>天地(あめつち)				
	つとめて				
て					
と	門(と)				
な	凧>朝凧、夕凧		夏風		
	渚		夏草		
	波・浪>敷波、川波、浮波、白波、藤波、八重波、荒波、津波、大津波、大波、夕波、小波(さざなみ)、浦波、徒波(あだなみ)、波風、風波、片男波		夏雲		
			夏木立		
			夏山		
に	西風:「せいふう」と音読みすると、主に秋の西風を指す。				
ぬ	沼(ぬ)>隠れ沼				
	沼(ぬま)				
ね	嶺>高嶺				
の	野>野辺、小野、焼け野、焼け野原、枯野			野分	
は	浜>浜面、荒浜、長浜、浜辺	花風	南風(はえ)>白南風、黒南風	初風	
	林>若林、星の林、雲の林	春茜		花野	
	原>柳原、野原、草の原、海原(うなばら)、川原・河原(かはら)、柞原(ははそはら)、荻原、松原	春風			
		春雨			
		春空			
		春月			
		春日			
ひ	日・陽>朝日、夕日、西日、日影、朝日影、夕日影、日盛り、日立、日火				
	干>潮干				
	泥(ひぢ)				
	昼>昼間、昼夜				
ふ	淵>淵瀬				吹雪(ふぶき):当て字。「吹く雪」ではない。
	麓				冬枯れ
					冬木立
へ					
ほ	星>星々、星合ひ、彗星、明星				ぼうろ: 葡語か。>花ぼうろ
	炎				
ま					
み	岬・崎・埼(みさき)				雲
	水(み)>水脈(みを)、水脈引き、水面(みなも)、水の面(みのも)、水上(みなかみ)				

	水(みづ)＞玉水、池水、下水、水の尾				
	湖				
	水門(みと)				
	湊・水門(みなと)				
	峰＞峰々				
む					
め					
も	望(もち)＞望月				
	紅葉・楓(もみぢ)＞もみぢ葉				
	森、杜				
や	山＞山々、奥山、山辺、山裾、神山、深山(みやま)、山越え、山際、山川、四万山(よもやま)、端山(はやま)				
	闇＞夕闇、宵闇				
ゆ	湯				雪＞白雪、雪消(ゆきげ)、初雪、み雪、深雪(みゆき)、はだれ雪、小雪、薄雪、大雪、雪間、雪もよ
	雪月花＞雪見、月見、花見				
	夕＞夕暮、夕月、夕べ、夕氷、夕映え				
	夕立				
	長庚(ゆふつづ)				
よ	宵＞今宵、宵闇				
	夜(よ)＞夜半、夜々、月夜、雨夜、小夜(さよ)、霜夜、短夜(みじかよ)、足夜(たりよ)、夜な夜な、桜夜、桜月夜、夜寒(よさむ)、常夜(とこよ)、夜去り、夜風、一夜、三夜(みよ)、夜空				
	夜(よる)＞昼夜				
ら					
り					
る					
れ					
ろ					
わ	海、海神(わたつみ)				
	★湾				
ゐ					
ゑ					
を	岡＞富岡				

動物の部					
	無季	春	夏	秋	冬
あ		赤貝:アカガイ	揚羽:アゲハ>黒揚羽 鮎:アユ 鮑:アワビ		
い	鰯:イワシ				
う		鶯:ウグイス 鶯:ウソ	鶉:ウ>鶉飼、鶉飼舟	鶉:ウズラ	
え					
お					
か	貝>赤貝、空貝・ 虚貝(うつせがひ)	蛾(ひひる):ガ かはひらこ:チョウ	蚊:カ>蚊遣火(かやり び) 蛙(かはづ):カエル 翡翠:カワセミ	蜻蛉(かげろふ):トン ボ、カゲロウ 鶺鴒:カササギ 雁(かり):ガン>雁が 音、遠雁が音	鴨:カモ 鶇(かまめ・かもめ):カ モメ
き		雉:キジ 雉子(きぎす):キジ		きりぎりす:コオロギ	狐:キツネ>狐塚、牝 狐
く			水鶏:クイナ		
け	毛>毛衣、上毛 (うはげ)				
こ	駒:ウマ>春駒			こほろぎ:コオロギ	
さ	鷺:サギ>白鷺: シラサギ 猿:サル				
し		蜆:シジミ		鹿:シカ>小牡鹿(さを しか) 鴨:シギ 鈴虫:スズムシ	
す	巢>浮き巢		蝉:セミ>蝉の羽(は)、 空蝉(うつせみ)		
せ					
そ					
た					鷹:タカ>鷹狩り 鶴(たづ):ツル>葦鶴 千鳥:チドリ>浜千鳥 鶴(つる):ツル
ち					
つ	翼	燕:ツバメ ★蝶(てふ)>胡蝶(こ てふ)			
て					
と	鳥>白鳥、群鳥、 水鳥、浮寝鳥、雲 鳥、千鳥、夕波千 鳥、浜洲鳥		虎鶉:トラツグミ		
な			夏虫		
に					鳩(にほ)、鳩鳥:カイツ ブリ
ぬ			鶉鳥(ぬえどり):トラツ グミ		
ね	鼠:ネズミ				
の					
は	羽(は)>羽衣、羽 振(はぶ)き、羽振 り 羽(はね)>羽搔	蛤:ハマグリ 春告げ鳥:ウグイス			
ひ		雲雀:ヒバリ	蛸・茅蛸・日暮:ヒグラ シ	鶉:ヒワ 鶉:ヒヨドリ	
ふ					
へ					
ほ	ほろろ	頬白:ホオジロ	螢:ホタル>螢火 時鳥:ホトギス>山時		
ま				松虫:スズムシ	
み					
む					
め					
も				鶇:モズ	
や			山鳥:ヤマドリ>遠山		
ゆ					

よ		呼子(よぶこ)、呼子 鳥:カッコウ、ウグイス、 ホトギス、ツツドリなど 多説。			
ら					
り					
る					
れ					
ろ					
わ					
ぬ	猪:イノシシ				
ゑ					
を	尾>しだり尾				

植物の部					
	無季	春	夏	秋	冬
あ	芦・葦・蘆:アシ、ヨシ>葦辺、蘆間、葦原		紫陽花:アジサイ	茜:アカネ	
			葵(あふひ):アオイ	秋の七草	
			菖蒲:アヤメ	朝顔・槿:アサガオ、ヒルガオ、キキョウ、ムクゲなど多説。 明日葉:アシタバ	
い	茨(いばら・うばら・むばら)			稲:イネ>稲葉、稲妻、稲穂	
う		梅:ウメ	卯の花:ウツギ		
え	枝(え)>松が枝 枝(えだ)>一枝(ひとえだ)				
お					
か	柏:カシワ>葉柏(はがしは)		杜若:カキツバタ	貌花(かほばな):ヒルガオ、カキツバタ、オモダカ、シャクヤク、ムクゲなど多説。	柿:カキ
	桂:カツラ		顔佳花(かほよばな):カキツバタ	茅・萱>萱茸き	★寒椿:カンツバキ
	葛>真葛(さねかづら)				
き	木・樹>木々、草木、深山木、投げ木、磯(そ)なれ木		★桔梗(きちかう):キキョウ	菊:キク>白菊、菊唐草(きくからくさ)	
く	茎		梔子:クチナシ	葛:クズ	
	草>草木、草枯れ、深草、若草、草葉、草の原、草隠れ、下草、千草(ちぐさ)、白草、草の原、草潜(ぐ)き			栗:クリ	
け					
こ	木・樹(こ)>木の葉、木の葉時雨、木蔭				
	苔:コケ				
	梢				
さ	笹:ササ>笹原	桜、花、桜花(さくらばな):サクラ>山桜:ヤマザクラ、枝垂桜:シダレザクラ、八重桜:ヤエザクラ、新桜(にひざくら)、桜尽くし、葉桜			★山茶花:サザンカ
		さしも草:ヨモギ			
し	篠>篠竹:シノダケ	枝垂桜:シダレザクラ	椎:シイ>椎柴、椎柴垣、椎本(しひがもと)	東雲草(しのめぐさ):アサガオ	
	柴>椎柴		忍草:シノブ	忍草:ノキシノブ、カンゾウ	
			★菖蒲:ショウブ>花菖蒲		
す	杉:スギ>杉群(すぎむら)	菫:スマレ	菅(すが、すげ):スゲ	薄:ススキ>花薄、枯れ薄	★水仙:スイセン
せ					
そ		染井吉野:ソメイヨシノ			
た	竹:タケ>篠竹:シノダケ、呉竹(くれたけ):ハチク、竹橋		橘:タチバナ		
ち	茅(ち):チガヤ>浅茅、浅茅生、浅茅が宿	高菘(ちさ):チシャ>山高菘			
つ	蔓(つる)	躑躅:ツツジ>岩躑躅		月草:ツユクサ	石蓀:ツワブキ
		椿:ツバキ>落椿(おちつばき)		鳶:ツタ>鳶紅葉(つたもみぢ)	
				露草:ツユクサ	
て					
と	苔		常夏:ナデシコ		
な	菜>若菜	菜花、花菜、菜の花:アブラナ	夏草	檜:ナラ	
	苗(なへ、なは)>苗代、苗代道		撫子:ナデシコ		
に					
ぬ					
ね	根>浮き根、松が根		合歡木:ネムノキ		
は	葉>落葉、裏葉、下葉、草葉、朽葉、青葉、若葉、葉隠れ、松葉、二葉(ふたば)、葉陰、病葉(わくらば)、木(こ)の葉、葉末(はずゑ)		蓮(はず):ハス	萩:ハギ>秋萩、小萩	

	花>花々、花笠、花摺り、初花、初花染め、花陰、花房、一花(ひとはな)、花風		蓮(はちす):ハス>蓮葉	柞(ははそ):コナラ、クヌギ、ミズナラ、カシワ>柞原	
			浜木綿:ハマユウ		
			★薔薇:バラ		
ひ	枚・片・弁(ひら)>四枚(よひら)、花びら				
ふ	房>花房		藤:フジ>藤波	藤袴:フジバカマ	
へ					
ほ				穂>諸穂(もろほ)、瑞穂(みづほ)	
ま	松:マツ>浜松、松葉、松が根、松原				
み	実	都忘:ミヤコワスレ			都鳥:ユリカモメ、オバシギなど多説。
	緑				
	海松藻(みるめ)				
む	葎(むぐら)、八重葎				
	室の木・杜松の木:ネズ				
め	芽				
	海布(め)>浮き海布(うきめ)				
も	藻>藻塩	桃:モモ>毛桃		紅葉(もみぢ)、もみぢ葉:モミジ	
や		八重桜:ヤエザク	山吹:ヤマブキ		
		山桜:ヤマザクラ	柳:ヤナギ>しだり柳、しだれ柳:シダレヤナギ、柳原、青柳(あをやぎ)、柳陰		
ゆ		夢見草:サクラ	夕顔:ユウガオ		
			百合:ユリ>小百合(さゆり)、小百合葉、小百合花、白百合		
よ	弁(よ)>弁々	蓬:ヨモギ			
ら					★蠟梅(らふばい):ロウバイ
り				★竜胆(りうたむ):リンドウ	
				★林檎:リンゴ	
る					
れ					
ろ					
わ	藁	若菜			
ぬ					
ゑ					
を				荻:オギ>浜荻、荻原	
				尾花:ススキ	
				女郎花:オミナエシ	

人物・身体部位の部	
	無季
あ	足>足洗(あしあらひ)、足形(あしかた)、足手まとひ
	脚・足(あと)>脚辺(あとへ)
	海人・海女(あま)
	主(あるじ)
い	息(いき)
	市人(いちびと)
	市女(いちめ)
	斎(いつき)>斎女(いつきめ)
	系姫
	妹(いも)>吾妹(わぎも)
	色人
う	鵜飼
	項(うなじ)
え	
お	己(おの)
	指(および)
	織姫
か	かかり端
	水手(かこ)
	頭(かしら)>目頭
	肩
	肩身
	徒歩(かち)
	潜(かづ)き女(め)
	腕(かひな)
	顔>夕顔、さらぬ顔、形見顔
	髪>黒髪、朝寝髪、散り髪、洗ひ髪、柳髪、束ね髪、襟髪、木の葉髪、濡れ髪、乱れ髪、解け髪、髪状(かみさし、かんざし)、前髪、後ろ髪、髪の毛
き	君
	肌理(きめ)
く	首>手首
	雲隠れ
け	毛>髪の毛、上毛(うはげ)、枝毛
こ	子>女子(をなご)、乙女子(をとめご)
	腰細(こしほそ)
	声
さ	早乙女
し	尻・後(しり)>眦・目な尻(まなじり)
す	清し女(すがしめ)
せ	背
	関守(せきもり)
そ	杣人(そまびと)
た	誰(た)
	誰(たれ・だれ)
	掌(たなうら)
	手末(たなすゑ)
	旅人
	民
	手弱女(たをやめ)
ち	
つ	妻
て	手>後手(うしろで)、行く手、手首
と	伴人(ともびと)
な	涙・泪>涙川

	汝(なれ)
に	
ぬ	
ね	
の	
は	肌・膚>和膚(にきはだ)、肌麗し女(はだくはしめ)
	機織り女(はたおりめ)
	裸
ひ	彦星
	人>人影
	姫・媛(ひめ)
ふ	舟人
へ	
ほ	頬
ま	目(ま)>眦・目な尻(まなじり)、目前(まさか)
	益荒男(ますらを)
	舞姫
	眉>眉根(まゆね・まよね)
	客人(まれびと・まらひと・まれうと・まらうと・まろうど)
み	身
	帝(みかど)
	巫女
	操(みさを)
	陰上・美斗・富登(みと)
	皆
む	胸
め	目>遠目、人目、目頭
	牝狐・女狐(めぎつね)
も	武士(もののふ)
や	山人
ゆ	指(ゆび)
よ	世人
ら	
り	
る	
れ	
ろ	
わ	我・吾(わ)>我が身、我が袖、吾妹(わぎも)
	童(わらは)、童べ
	我(われ)
ゐ	
ゑ	
を	男(をとこ)
	乙女・少女(をとめ)>乙女子(をとめご)、乙女湯(をとめゆ)
	踊子
	女子(をなご)
	女(をんな)

建築物・農耕・狩猟・屋外の部	
	無季
あ	畦(あぜ)
	四阿(あづまや)
い	筏(いかだ)
	家
	庵(いほ) > 仮庵
	庵(いほり)
う	
え	
お	
か	楫(か) > 水手(かこ)
	垣 > 竹垣、椎柴垣、松垣、青垣
	梯・架け橋(かけはし)
	楫・舵 > 楫緒(かぢを)、楫枕、真楫(まかぢ)
	門(かど)
	鐘
	櫓(かひ)
き	階(きざはし)
く	串 > 火串(ほぐし)
	鍬(くは)
け	
こ	
さ	里 > 色里
	棹 > 水棹(みさを)
し	柵(しがらみ)
	鹿威し(ししおどし)
	塩 > 藻塩
	代(しろ) > 苗代、苗代道
	城
す	
せ	関・堰(せき)
そ	園 > 花園
	杣(そま) > 杣人
た	田 > 門田、高田、千町田(ちまちだ)
ち	路(ぢ) > 別れ路、通ひ路、闇路、直路(ただち)、舟路、長道(ながぢ)、旅路、山路、深山路(みやまぢ)、夢路、潮路
つ	塚 > 狐塚
	築山(つきやま)
	蹲踞(つくばひ)
	剣
て	寺
と	戸
	峠・手向け(とうげ、たむけ)
	★燈籠
	関(とき) > 勝ち関
	殿 > 湯殿(ゆどの)
	枢(とぼそ)
	苦
	燈・灯・灯火・燭・ともし火
な	縄 > 綱手縄
	躰(なはて)
に	庭 > 一庭(ひとには)
ぬ	

ね	閨・寝屋(ねや)
の	軒>軒端(のきば)
は	橋・梯>浮橋、夢の浮橋、玉橋、八橋(やつはし)、桜橋、石橋・碕(いしばし)、竹橋、天橋、橋立
	階(はし)
	柱>真木柱
ひ	火・灯・燈>漁り火、ともし火、埋み火、篝火(かがりび)、蚊遣火(かやりび)、炭火、螢
	鄙(ひな)
ふ	襖(ふすま)
	舟>伴舟、鶺鴒舟、落ち葉舟、高瀬舟、小舟、浮舟、柴舟、渡し船、船渡り
へ	
ほ	堀>堀川
ま	町、街
	窓
	丸屋(まるや)
み	砌・水限り(みぎり)
	道・路(みち)>裏道、下道、恋道、道辺、道連れ、苗代道、道抄(みちばか)、山道、細道
	湊・水門・港(みなと)
	都>都忘れ
	濤標(みをつくし)
む	
め	
も	
や	屋>苫屋
	宿・屋戸>浅茅が宿
ゆ	弓>弓取り、弓引き、弓張り
よ	
ら	
り	
る	
れ	
ろ	
わ	
ゐ	井
ゑ	
を	小車

調度・日用品・服飾の部	
	無季
あ	扇(あふぎ)＞扇紙
い	
	糸＞白糸、しだれ糸
う	
え	衿
お	衤
	御端折り(おはしより)
	帯＞下帯(したおび)
か	鏡＞手鏡
	傘・笠＞花笠
	挿頭(かざし)
	帷子(かたびら)＞古帷子
	筐(かたみ)
	鬘(かづら)
	竈(かま)＞炭竈、塩竈、竈(かまど)
	紙＞扇紙
	笄(かみかき・かうがい)
	簪(かみさし・かんざし)
	★歌留多(かるた): 葡語
き	
	衣(きぬ)＞薄衣、衣々、解き衣、白衣(しろぎぬ)、濡衣
	砧
く	★具＞湯具(ゆぐ)
	櫛＞小櫛(をぐし)、花櫛
け	化粧(けはひ)
	蹴纏(けまとひ)
	蹴回(けまはし)
こ	琴
	衣(ころも)＞露分け衣、衣手、藤衣、衣箱、唐衣、摺り衣、羽衣、恋衣、鶉衣、夏衣
さ	盃
	指金(さしがね)
	皿
し	褥(しとね)
す	鈴
	硯(すずり)
	裾
	簾＞玉簾
	炭＞粉炭
	墨＞墨染
せ	
そ	袖＞袖枕
た	畳
	棚
	栲(たへ)＞白栲、白妙
	玉、珠＞白玉、玉敷き、玉床、玉章・玉梓(たまづさ)
	袂
	盥(たらひ)
ち	
つ	槌＞大槌
	褌＞左褌(ひだりづま)

て	
と	
	床>小夜床(さよどこ)、玉床、荒床(あらどこ)
な	
に	錦>錦木
ぬ	
ね	
の	
は	箱>衣箱(ころもばこ)
	箸
	帚(ははき)>帚木
ひ	雛形
	紐>下紐(したひも)
ふ	衾(ふすま)
	筆>巻き筆
	笛>横笛、篠笛
	文
へ	紅(べに)
ほ	
ま	枕>草枕、旅枕、波枕、笹枕、手枕(たまくら)、袖枕、新枕(にひまくら)、楫枕、浮枕、枕辺(まくらへ)
み	
	身頃(みごろ)
	身仕舞(みじまひ)
	水茎
む	蕙>さ蕙、稲蕙
め	
も	裳
	襷(もたひ)
	振摺(もちず)り
や	
	八つ口>身八つ口
ゆ	
	湯>湯浴み、★湯具(ゆぐ)、湯殿(ゆどの)、乙女湯(をとめゆ)
	木綿
よ	夜着(よぎ)
	装ひ
ら	
り	
る	
れ	
ろ	
わ	
ゐ	
ゑ	
を	緒>玉の緒、楫緒(かぢを)
	桶

観念・概念・心境の部					
	無季	春	夏	秋	冬
あ	あえか	★桜月(あうげつ)		秋	
	浅(あさ)＞遠浅、浅瀬				
	朝戸出				
	明日(あした)				
	明日(あす)				
	仇(あだ、あた)				
	徒(あだ)＞徒波、徒臥(あだぶ)し				
	跡				
	彼方(あなた)				
	間(あはひ)				
	あはれ				
	間(あひだ)				
	数多(あまた)				
	彩・綾・文(あや)＞文目				
	荒＞本荒(もとあら)、荒磯(あらいそ、ありそ)、荒床(あらどこ)				
	顕・露(あらは)				
い	粹(いき)				
	幾＞幾重、幾夜、幾年(いくとせ)、幾峰、幾種(いくくさ)、幾十(いくそ)、幾度				
	戦(いくさ)				
	いさ				
	漁り＞漁り火				
	頂(いただき)				
	何時(いつ)				
	何処(いづこ)				
	何処・何方(いづち)				
	暇(いとま)				
	否(いな)				
	いにしへ				
	命				
	今＞今は				
	色＞初色、色香				
う	宴(うたげ)				
	後ろ				
	嘘				
	歌				
	内(うち)＞内方(うちかた)				
	うつせみ				
	現(うつつ)＞夢うつつ				
	上(うは)＞上の空				
	上・表(うへ)＞裏表(うらうへ)				
	裏＞裏切り、裏表(うらうへ)				
	末(うら・うれ)＞末葉(うらば、うれは)				
	心(うら)＞心泣き				
	愁ひ・憂ひ				
え					
お	奥				
	音(おと)				
	訪れ				
	おとなひ				
	同じ				
	朧＞朧月、朧月夜、朧染め				
	面(おも)				
	面影				
	表・面(おもて)				
	思はく				
	思ひ＞片思ひ(かたおもひ・かたもひ)、下思ひ(したおもひ・したもひ)、思ひ出				

	折				
か	香>移り香、残り香、梅が香、人香(ひとが)、色香、直香(ただか)、元つ香				
	日(か)>二日(ふつか)				
	処(か)>住処(すまか)				
	影>月影、日影、朝影、夕影、朝日影、夕日影、人影			桂月	
	陰・蔭>下陰、夏陰、木蔭(こかげ)、葉陰、花陰、柳陰				
	限り				
	託言(かごと)				
	数>日数				
	幽けさ(かそけさ)				
	方>内方(うちかた)、一方(ひとかた)、方々(かたがた)、久方				
	片>片思(かたも)ひ、片恋(かたこ)ひ、片敷き、片鳴き、片泣き、片時、片や				
	形(かた)>足形(あしかた)、雛形(ひながた)				
	形(かたち)				
	傍ら(かたはら)				
	形見>形見顔				
	彼方(かなた)				
	予言(かねごと)				
	甲斐(かひ)				
	帰るさ				
	上(かみ)>水上(みなかみ)				
	神>神山、八十神々(やそかみがみ)				
	唐草				
	仮初(かりそめ)				
	香り、薫り				
き	兆し	如月(きさらぎ)			
	瑕・傷(きず)>新傷(あらきず)				
	北				
	後朝(きぬぎぬ)				
	昨日(きのふ)				
	極み				
く	種(くさ)>千種、幾種、言の葉種				
	国>沖つ国				
	細(くは)しさ				
け	日(け)>旅の日				
	怪(け)>物の怪				
	異(け)>日に異に				
	景色、気色(けしき)				
	気配(けはひ)				
	今日(けふ)				
こ	処(こ)>何処(いづこ)				小春
	是(こ)				
	心>心地、心様、心和(なぎ)、何心(なにごころ)、恋心、心根(こころね)、花心、静心(しづごころ)、世心(よごころ)				
	昨夜(こそ)				
	昨年・去年(こそ)				
	言>言の葉、言葉、言の葉種(ぐさ)、枕言(まくらごと)、空言				
	事>吉事(よごと)				
	毎(ごと)>朝毎、夜毎(よごと)				
	此方(こなた)				
	恋>恋路、恋心、下恋、恋衣、初恋				
	籠め(こめ)>衣籠(きぬご)め、貝籠め、神籠め、花籠め				

	頃			
	声>鳴き声、一声			
さ	境		五月・皐月(さつき)	
	先			
	さびしさ			
	寒>夜寒(よさむ)			
し	無言(しじま)			時雨月
	下(した)>下燃え、下思(したおも、したも)ひ、下折れ、下恋、下泣き、下臥し			
	品			霜月
	暫し(しばし・しまし)			
	入(しほ)>一入(ひとしほ)、八入(やしほ)、初入			
	調(しらべ)			
	駿・印(しるし)			
	導・標(しるべ)			
	葉・枝折(しをり)			
す	姿>文姿(たけすがた)			
	次(すがひ)			
	すさび			
	筋(すぢ)>一筋			
	術(すべ)			
	末>行く末、葉末(はずゑ)、梢・木末			
せ	瀬>逢瀬、初瀬			
そ	其(そ)>其処(そこ)			
	底			
	幾許・若干(そこばく)			
	外(そと)			
	其方(そなた)			
	傍(そば)			
	空・虚(そら)>上(うは)の空、中空、身空、虚(おほぞら)、空言			
た	黄昏時・誰そ彼時(たそがれどき・たそかれどき)			
	直(ただ)>直路(ただぢ)、直香(ただか)			
	伊達			
	頼み			
	頼め			
	戯れ(たはれ)			
	旅>旅寝、舟旅、一人旅			
	度(たび)>再び			
	妙(たへ)>白妙			
	魂・霊(たま)>船霊(ふなだま)			
	偶(たまさか)			
	玉響(たまゆら)			
	便り			
ち	千(ち)>千歳(ちとせ)、千草、千よ、千代・千世、千夜、千束(ちづか)			
	力>手力(たちから)			
	契り			
	千歳(ちとせ)			
つ	(個・箇)つ>一つ、二つ、三つ(みつ、みつつ)			
	東>東の間			
	づから>自(みづか)ら、心づから			
	次(つぎ)			
	月>月日、年月			
	九十九(つづら)>九十九折り			
	端(つま)			
	艶			
	列・連(つら)			

	面(つら)＞海面(うみづら)			
て				
と	所・処(と・ど)＞臥し所			
	音(と)＞水音(みのと)、足音(あのと)、遠音(とほと)			
	咎(とが)			
	時＞一時(ひととき)、片時			
	常(とこ)＞常永久(とことは)、常夜、常夏、常盤(ときは・とこいは)			
	所(ところ)			
	年・歳(とし・とせ)＞一年(ひととせ)、千歳(ちとせ)、年月			
	同士(どち・どし)＞思ふどち			
	遠(とほ)＞間遠(まどほ)			
	永久・永遠(とは)			
	供・共・伴・友＞伴人(ともびと)			
な	名＞徒名(あだな)	夏＞夏陰	長月	
	中・仲＞直中(ただなか)、世の中、中空、最中(もなか)			
	半ば			
	眺め			
	慰(なぐさ・なぐさみ)＞心慰			
	なごり			
	情(なさけ)			
	何＞何はのこと			
	習ひ、慣らひ			
に	西			
	匂ひ(にほひ)			
ぬ				
ね	音(ね)＞忍び音、雁が音、遠雁が音、鳴き音、泣き音			
	寝(ね)＞浮き寝、一人寝、鳴き寝、泣き寝、うたた寝、昼寝、旅寝、仮寝、寝覚め、丸寝(まるね)			
の	後(のち)			
は	端(は)＞山の端、端山(はやま)、軒端、かかり端	初月(はつづき)	葉月	
	端(はした)			
	初め・始め			
	開け(はだけ)			
	果て	花月(はなづき)		
	果たて	花名残月(はななごりづき)		
	外れ(はづれ)	春＞春辺(はるべ)、春秋		
ひ	日＞月日、日数、一日(ひとひ)、明くる日			
	傍(び)＞山傍			
	東			
	光＞御光(みひかり)			
	左			
	一人、独り			
	終日(ひねもす)			
	ひま			
ふ	★福	吹雪月		冬
	故郷・古里(ふるさと)	文月(ふみづき)		
へ	辺(へ・べ)＞葦辺、山辺、野辺、浜辺、道辺、沢辺、寄る辺、脚辺(あとへ)、枕辺(まくらへ)			
	上(へ)＞波の上			

	重(へ)＞一重、八重、九重、八重咲き、十重二十重(とへはたへ)、五百重(いほへ)				
	戸(へ)＞八戸(はちのへ)				
ほ	他(ほか)				
ま	間(ま)＞東の間、雨間(あまま)、雪間、絶え間				
	誠(まこと)				
	亦・又・復(また)				
	斑(まだら)				
	円居(まどゐ)				
	前				
	幻				
	儘(まま)				
み	右		水無月		
	南				
	行幸(みゆき)				
む	面(む)＞田の面	睦月			
	昔＞昔語り				
	斑(むら)＞斑消え				
	群＞杉群				
め					
も	面(も)＞河面、水面(みなも)、水の面(みのも)、田の面				
	元・本・下(もと)＞椎本(しひがもと)、一本(ひとつもと)、元つ香、木(こ)の下				
	もなか				
	物＞物の怪(け)				
	諸(もろ)＞諸共、諸穂				
や	病(やまひ)	弥生＞弥生			
	弥生				
ゆ	縁(ゆかり)			雪月	
	行方(ゆくへ)				
	夢＞夢うつつ、夢見				
よ	世・代＞世の中、浮世、常世(とこよ)、世々、君が代、千代・千世、八千代、神代、幾千世(いくちよ)				
	横＞横雲				
	由(よし)				
	縁(よすが)				
	よそ				
	四方(よも)＞四万山(よもやま)				
	万(よろづ)＞八百万				
ら					
り					
る					
れ					
ろ					
わ	別れ				
	辺り(あたり)				
	わびしさ				
ゐ	居＞雲居、円居(まどゐ)				
ゑ					
を	遠近(をちこち)				
	終はり				
	折＞折節、折々				

民話・神話の部					
	無季	春	夏	秋	冬
あ					
い		射遺し(いのこし)			
う	橋姫>宇治の橋姫				
え					
お	十八番(おはこ)				大晦日
か	神楽>巫女神楽				
	神降ろし				
	神代(かみよ)				
	隋神(かむながら)				
	神奈備(かむなび)				
	神御衣(かむみそ)				
	賀茂の斎(いつき)				
き					
く	傀儡(くぐつ)>手傀儡				
け					
こ					
さ	榊(さかき)	佐保姫			
し		★十三参り			
	思古淵・思子淵・志古淵・信興淵(しこぶち)				
	標(しめ)				
す					
せ					
そ					
た				竜田姫	
ち					
つ					
て	手児奈(てこな)				
と					
な	櫓の葉守				
に	錦木				
	瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)				
ぬ					
ね					
の					
は	祝(はふり・はぶり)				
ひ					
ふ					
へ					
ほ	仏				ぼうろ>花ぼうろ
ま	舞				
み	巫女				晦日
	御陵(みささぎ)				
	御光(みひかり)				
	三世(みよ)>三世の仏				
	三井水(みゐみづ)				
む					
め					
も					
や	大和歌(やまとうた)				
ゆ					
よ	黄泉(よみ)				
ら					

り					
る					
れ					
ろ					
わ	童遊び				
ゐ					
ゑ					
を					

枕詞の部					
	無季	春	夏	秋	冬
あ	赤らひく→色ぐはし 子	あらたまの→年、 日		秋津島→大和	
	蘆の根の→夜々				
	あしびきの→山				
	天飛ぶや→軽				
	あをによし→奈良				
い				稲莖→敷く	
う		うちなびく→春	空蟬の→身		
え					
お					
か			蚊遣火の→く ゆる、けふる	苺萱(かるか や)の→乱る	
	唐衣(からころも)→				
き	君が代の→なが				
く	雲鳥の→あや				
	くれはとり→綾				
	黒髪の→長し、乱る				
け					
こ					
さ					
し	敷妙の→枕、床、袖			白露の→玉、 おく	
	白玉の→涙				
	白妙の→霞、雪、 雨、雲、袖、袂、衣 (きぬ)、衣(ころも)				
す	住江の→松				
せ			蟬の羽の→薄 し、ひとへ		
そ					
た	高砂の→尾の上				
	たまきはる→幾夜				
	玉くしげ→奥、あく、 身、二(ふた)				
	霊(たま)ちはふ→神				
	玉の緒の→短し、乱 る				
ち	ちはやぶる→神				
つ	綱手縄→苦し			月草の→うつ	
て					
と	飛ぶ鳥の→明日				
な			夏草の→しげ し		
			夏衣→ひとへ		
に					
ぬ	ぬばたまの→髪、 夜、月、黒				
ね					
の					
は	浜洲鳥→あなゆむ	春霞→み、立つ、 おぼ		花薄→頬	
ひ	久方の→雨、夜、 光、月、空				

ふ			藤波の→思ひ まつはり		
へ					
ほ					
ま	真木柱→太				
	松の葉の→散り失せ ず				
み	水無瀬川→下				
む					
め					
も					
や			山鳥の→尾、 ひとり寝		
ゆ					
よ					
ら					
り					
る					
れ					
ろ					
わ		若草の→新(にひ)			
ゐ					
ゑ					
を					

歌枕・名所名跡・地名の部	
番号は県コード(JIS)	
1,北海道	蝦夷(えぞ・えみし)
	千島
2,青森県	下北
	外が浜
	平館
	★童飛(たつぴ):アイヌ語説あり
	津軽
	八戸(はちのへ)
	陸奥(みちのく・むつ)
3,岩手県	一ノ関
	岩手
	大槌
	大船渡(おおふなど)
	釜石
	北上川
	久慈:音読みではなく当て字
	★三陸
	高田
	東稲山(たばしねやま)
	宮古
	陸奥(みちのく・むつ)
4,宮城県	荒浜
	岩沼
	★気仙沼:エミシ語説あり
	志津川
	塩竈>塩竈の浦
	末の松山
	★太白(たいはく)
	多賀:音読みではなく当て字
	陸奥(みちのく・むつ)
	長浜
	広瀬>広瀬川
	名取>名取川
	古川
	松が浦島
	松島、奥松島
	★南三陸
	宮城>宮城野
	若林
	雄島
	緒絶(をだえ)の橋
	女川
5,秋田県	象潟(きさかた)
	男鹿(をが)>男鹿の潟
6,山形県	阿古耶(あこや)の松
	袖の浦
	最上川
7,福島県	阿武隈>阿武隈川
	★相馬(さうま)
	白河の関
	富岡
	勿来(なこそ)の関
	松川
	陸奥(みちのく・むつ)

8,茨城県	潮来(いたこ)
	霞ヶ浦・霞が浦
	恋瀬川
	筑波嶺、筑波山
	行方(なめがた)
	日立
	小美玉(をみたま)
9,栃木県	芦野>芦野の里
	室(むろ)の八島
	遊行柳(ゆぎやうのやなぎ)
10,群馬県	伊香保
	佐野の船橋
	榛名(はるな)
11,埼玉県	入間
	堀兼(ほりかね)
	三芳野>三芳野の里
12,千葉県	葛飾
	野島埼
	真間
13,東京都	飛鳥山
	井の頭
	江戸>江戸川、江戸川橋、大江戸
	面影橋
	久我山
	駒場>駒場野
	桜橋
	品川
	椎名町
	潮入の池:浜離宮庭園
	石神井>石神井川
	隅田川>隅田川原(すみだがはら)
	★高井戸(←高井堂不動)
	高尾山
	竹橋
	立川
	辰巳
	多摩川(玉川)
	玉藻池(たまもいけ)
	東の京
	人見
	日野
	深川
	富士見丘
	二子玉川
	堀川
	六義(むくさ)の園(その):★六義園
	武蔵野>武蔵野の原
14,神奈川県	伊勢原
	浦賀
	川崎
	相模>相模原、相模川
	走水(はしりみづ)
	花水川(はなみづがは)
	二俣川
15,新潟県	越(こし)の中山
	寺泊(てらどまり)
16,富山県	奈呉(なご)>奈呉の浦

	婦負(めひ・ねい)の野
17,石川県	越(こし)の白山
	羽咋(はくひ)
18,福井県	恋の松原
	三方(みかた)＞三方の海
	若狭
19,山梨県	甲斐＞甲斐が嶺(ね)
	笛吹川
	富士
20,長野県	風越(かざごし)の峰
	更級
	諏訪＞上諏訪
	千曲＞千曲川
21,岐阜県	長良＞長良川
	結ぶの神
22,静岡県	天城
	大井＞大井川
	清見瀧
	浜名＞浜名の橋
	富士
23,愛知県	熱田
	阿波手(あはで)の森
	夜寒の里
24,三重県	伊勢
	鈴鹿＞鈴鹿山
	涙川
	二見＞二見瀧、二見の浦
	忘れ井
25,滋賀県	安曇(あど)＞安曇川
	逢坂＞逢坂の関、逢坂山
	伊吹山
	志賀の浦
	鳩の海
26,京都府	天橋立
	嵐山
	生野
	入野(いるの)
	宇治＞宇治川
	桂川
	賀茂
	木津＞木津川
	貴船山
	★祇園
	中川
	柞原、柞の森
	広沢の池
	深草
	伏見
	瓶原(みかのほら)
	山科
	由良＞由良の門
	小倉山
27,大阪府	芥川
	住江
	高師の浜
	難波瀧、難波江
	吹飯(ふけひ)

	三島>三島江
	水無瀬川
28,兵庫県	明石>明石の浦
	芦屋>芦屋の里
	淡路
	有馬
	生田の森
	須磨>須磨の浦
	高砂
	鳴尾
	初島
	松帆の浦
	猪名(おな)
29,奈良県	飛鳥・明日香>飛鳥川
	天の香具山
	神奈備山(三室山)
	龍田川
	手向山
	飛火野(とぶひの)
	奈良
	初瀬(はつせ・はせ)>小初瀬(をはつせ)
	三笠山(春日山)
	吉野>み吉野
30,和歌山県	名草山
	三井水(みるみづ)
	由良>由良の瀬戸(紀淡海峡)
	和歌の浦・若の浦:「和歌」は「若」の当て字で、音読みではない。
31,鳥取県	稲羽・因幡
	火神岳(ほのかみだけ):★大山(だいせん)
	三朝(みささ)>三朝橋
32,島根県	石見(いはみ)
	隠岐
33,岡山県	旭川
	牛窓
	邑久(おく)
	児島
	瀬戸内
	高梁川(たかはしがは)
	★備讃瀬戸
	高梁川(松山川)
	虫明(むしあけ・むさけ)
	吉井川
34,広島県	安芸
	厳島
	鞆(とも)の浦
	広島
35,山口県	麻里布(まりふ)の浦
	室積(むろづみ)
36,徳島県	阿波
	木津神(こつかみ)>木津神の浦
	鳴門
	★眉山(びざん)
37,香川県	讃岐
	狭岑(さみね):★沙弥島
	弦打(つるうち)>弦打の山
38,愛媛県	来島

	熟田津(にきたづ)
	三島>大三島
39,高知県	潮江(うしほえ):鏡川
	室戸>室戸岬
40,福岡県	藍染川
	苅萱(かるかや)>苅萱の関
	★関門
41,佐賀県	唐津
	玉島>玉島川
	領巾振(ひれふり)の嶺
	松浦(まつら)
42,長崎県	★雲仙
	長崎
	竹敷(たけしき)>竹敷の浦
43,熊本県	河内
	鼓が滝
44,大分県	倉無(くらなし)の浜
	姫島
45,宮崎県	阿波岐原(あはきがはら)
	高千穂
46,鹿児島県	霧島>霧島山
	薩摩>薩摩の瀬戸
47,沖縄県	御嶽・御岳(うたき)
	城(ぐすく)
	首里
	那覇
日本	秋津>秋津島
	大八洲(おほやしま)
	敷島
	豊葦原(とよあしはら)
	日の本の国
	瑞穂(みづほ)の国
	大和

漢語・梵語の部	
	無季
あ	悪
	阿耨多羅三藐三菩提(あのくたらさんみやくさんぼだい)
	阿しゆく(門に人三みつ)
	阿弥陀
い	
う	
え	依怙(えこ)
お	
か	観音
き	羯諦羯諦(ぎやーてーぎやーてー)
く	
け	剣(けん)
こ	五智
さ	
し	獅子
	青蓮華(しやうれんげ)
	釈迦
	衆生
	精進
す	水瓶(すいびやう)
せ	
そ	象
た	大慈大悲
	大日
ち	智慧
	地藏
つ	
て	
と	
な	
に	如来
ぬ	
ね	
の	
は	
ひ	毘盧遮那
ふ	
へ	
ほ	菩薩
	法身>法身普賢
ま	
み	冥加(みやうが)
	弥勒菩薩
む	
め	
も	
や	薬師
ゆ	
よ	余情(よせい)
ら	
り	
る	瑠璃
れ	

ろ	
わ	
ゐ	
ゑ	
を	